

2019年10月11日

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社

親子で楽しみながら防災について学べる体験型イベント
「防災博士の挑戦状」を当社研修施設 すまラボ で開催
～今年も好評開催～

当社の体験型研修施設「すまラボ」にて、2017年より実施している「防災博士の挑戦状」。好評につき今年も2019年8月24日・25日の2日間に亘り、計3講演を開催いたしました。

本イベントは、当社管理マンションの居住者様の親子を対象とした防災イベントであり、謎解きを通じて防災の知識を学んでいただける内容です。昨年10月には、当施設「すまラボ」が“2018年度グッドデザイン賞”を受賞したこともあり、より多くの皆様に当施設を体験いただきたく、イベント内容を昨年よりバージョンアップしての開催となりました。

今回も、NPO法人プラス・アーツ^(※1)とコラボレーションし、楽しみながら防災に関する知識を習得いただくこと、および有事の際に必要な「自助」と「共助」の力を高めていただくことを目的として開催し、初めてご参加いただいた方に加え、昨年度より引き続きご参加いただいた居住者様もいらっしゃいました。

(※1) NPO法人プラス・アーツは、阪神・淡路大震災を教訓として災害時に本当に必要な知識を身に付けられるよう、お子さまでも楽しく気軽に学ぶことができる新しい防災訓練「イザ！カエルキャラバン！」を企画し、全国各地で防災知識の啓蒙に取り組んでいる団体です。

イベント内容は、「すまラボ」内に隠された暗号カードを当社社員が演じる研究員と共にチームを組んで協力して見つけ出し、体験型プログラムやクイズに挑戦して回答を見つけて謎解きを完成させ、結果として防災にとって大切なものを知ることができるという構成です。

今年はお子様、親御様問わず、参加者の皆様に屋内消火栓の放水、隔壁板蹴破り、AED等を体験していただけるよう体験型のコーナーを増加。加えて、当社社員をより身近に感じていただくため、1家族に1名～2名の当社社員が加わり皆様と一緒に謎解きを行いました。

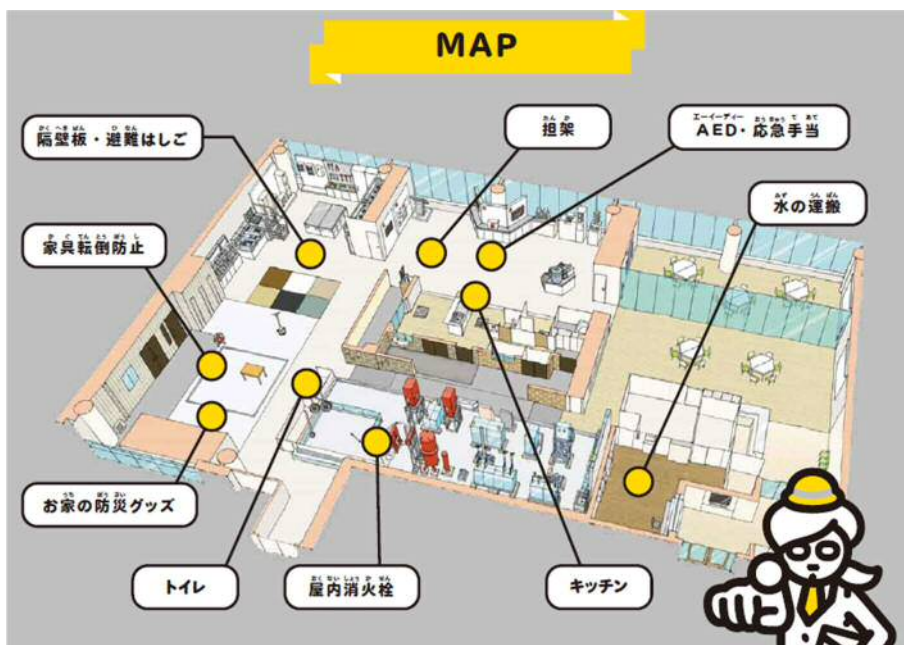
また昨年度と異なり、深川消防署隊員の皆様による屋内消火栓やAEDの使い方についての直接指導・デモンストレーションの実施より、それぞれの使用方法についてより深く理

解していただけるイベントとなりました。

マンションには避難設備・消防設備等、有事の際の備えはあるものの、自信をもって扱うことができる居住者の方々は多くはないと思われます。当施設を通じて当社管理マンションにお住いの皆様の安全向上のため、今後もより多くの方々に防災に関する体験と自助共助のための居住者間および当社社員とのコミュニケーション機会をご提供出来ればと考えております。

すまラボにおける当社の取り組みが
「2018年度グッドデザイン賞」を受賞！

<防災博士の挑戦状プログラムマップ>



<防災博士の挑戦状に参加された皆様の様子>



ご参加者の皆様



当社社員と協力して謎解き



消防署隊員と共に AED 体験



屋内消火栓の放水体験



隔壁板の蹴破り体験



学んだことを研究ノートに記入

【SDGsへの貢献】

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までを期限とする17の国際目標です。各国政府、市民社会、民間企業等を含む様々な関係者が連携し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を達成することが掲げられております。



本イベントではSDGs 4・11・17の目標に貢献しております。

<SDGs目標>

目標4 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

目標11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

目標17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、(グローバル) パートナーシップを活性化する。

以上